

試行調査(プレテスト)の協力校 確定及び内容を予告！

教科書では扱われていない資料も出題！思考力を問う！

旺文社 教育情報センター 29年10月16日

32年度から実施される「大学入学共通テスト」のプレテストが、今年の11月に行われる。このたび、プレテスト参加協力校及び受検者数が確定し公表された。あわせて公表されたプレテストの趣旨や注意点などを各教科の問題構成や内容の予告と共にまとめた。

なお、「プレテスト」という呼称は、よりその趣旨・性格が明確になるように「試行調査」と改められた。そのため、本稿でも以降「試行調査」と表記する。

◆29年度の試行調査

まず、ほとんどの教科が11月に行われ、「英語」と「受検上の配慮」だけは2月に行われる。以下は今回参加協力が確定した11月実施分の表だ。

●11月実施の実施科目、試験時間、受検者数等

解答の形式	実施科目	試験時間	受検対象者	受検者数(概数)
記述式+ マーク式	国語	100分	高校2年生 以上	69,000人
	数学Ⅰ・数学A	70分		57,000人
マーク式	世界史B、日本史B、地理B、 現代社会、数学Ⅱ・数学B、 物理、化学、生物、地学	各60分	原則 高校3年生	科目平均：7,000人 (受検者数は科目ごとに異なる)

「大学入試センター」資料より

●実施期間他

29年11月13日(月)～24日(金)の任意の日時。

なお、参加する高等学校・中等教育学校は全体の約38%(約1,900校)。

受検者数(概数)は190,600人(延べ人数。協力校の事情により変更となる場合もある)。

※2月実施の試行調査に関しては以下の通り。

- ・英語：対象は高校2年生以上
- ・受検上の配慮：特に点字問題について実施する予定。
- ・実施期間：30年2月13日(火)～3月3日(土)の任意の日時。
(英語のみ上記で確定。受検上の配慮についての試行調査は検討中)
- ・受検者数、協力校の募集方法等については検討中。

◆試行調査の趣旨

試行調査では、知識の深い理解と思考力、判断力、実現力を一層重視した問題作成の工夫・改善を行い、解答状況等を分析するとともに、記述式問題における形式面・内容面にわたる正答の条件のあり方や採点体制、採点期間等について検証を行うとしている。マーク式の問題においても、知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視した出題の工夫・改善がなされる。したがって、試行調査の問題の構成や内容は従来の大学入試センター試験とは異なるものとなる。

また、新たな出題形式として、複数の選択肢が正解となる問題や、前問の解答と連動する問題、「解なし」が正解となる問題なども出題される。

◆各教科・科目の問題の構成や内容

各教科ごとに予告されている内容を紹介する。特徴的なのは、教科書で扱われていない初見の資料が使用されることや、仮説を立てたり、推測、考察することが求められる問題が出題されることだ。前述の趣旨のとおり、知識の理解の質、思考力、判断力、表現力を問われる問題が出題されると予想される。

【国語】

- ・与えられた情報を多面的・多角的な視点から解釈したり、目的や場面等に応じた文章を書いたりすることが求められる。
- ・分野を越えて題材を組み合わせたり、同一分野において複数の題材を組み合わせたりする問題も含まれる。

〔記述式の問題〕：小問 3 問で構成される大問 1 問を出題。

解答字数はそれぞれ、20 字、40 字、80～120 字程度。

【数学（数学Ⅰ・数学 A、数学Ⅱ・数学 B）】

- ・事象の数量等に着眼して数学的な問題を見いだすことや、目的に応じて数・式、図、表、グラフなどを活用し、一定の手順に従って数学的に処理することなどが求められる。
- ・日常の事象や、数学の良さを実感できる題材、受検生が既知ではないような題材も出題される。

〔記述式の問題〕：「数学Ⅰ」で設定し、マーク式問題と混在させた小問 3 問を出題。

数式を記述する問題、または問題解決のための方略を短文で記述する問題を出題。

【地理（地理 B）】

- ・事象の空間的な規則性を分析して地域性を捉えることや、地域の変容や構造について考え、地域の課題を理解し将来像について構想していくことが求められる。
- ・系統地理と地誌の両分野からのアプローチを意識した問題も含まれる。

【歴史（世界史 B、日本史 B）】

- ・用語に関する知識ではなく、事象の意味や意義、特色や相互の関連等に関する理解が求められる。
- ・教科書等で扱われていない初見の資料についても、仮説を立てたり、歴史的事象の展開を考察することが問われる。
- ・時代や地域によらず「歴史の見方」のようなテーマを設定した問題や時間軸を長くとった時代を貫く問題なども含まれる。

【公民（現代社会）】

- ・文章や資料を読み解きながら重要な概念や理論等を活用し考察することが求められる。
- ・身近な社会的事象に重要な概念や理論等を適用して考察する問題や、各種の統計など多様な資料を読み解き、さまざまな立場から考察する問題などが含まれる。

【理科（物理、化学、生物、地学）】

- ・自然の事象の中から本質的な情報を見だし、課題の解決に向けて主体的に考察・推論することが求められる。
- ・教科書等では扱われておらず受検生にとって既知ではない資料等を分析的、総合的に考察することができるかという、深い理解を伴う思考力等を問う問題や、仮説を検証する過程で、数的処理を伴う思考力等が求められる問題などが含まれる。

◆調査結果の公表など

試行調査の結果については、問題内容とともに、全体の速報値を12月上旬に公表の予定。参加協力した学校では、問題冊子を試験実施後に回収し、実施期間内の11月中は厳重に保管するよう依頼。また、実施済の生徒に対しては、SNSなどで情報を流さないよう各学校で指導するよう依頼する。

個人の成績は年内を目途に速報値を報告。全体の結果は年度内のなるべく早い段階での送付を目指す。なお、試行調査のため配点が行っていない。問題ごとの正誤や正答率等を成績として送付予定。個人や学校ごとの成績は公表しない。

◆その他の留意事項

記述式問題の自己採点の参考となるよう動画や資料が用意される。

試行調査は、あくまでも検証のためであるため、32年度からの大学入学共通テストの問題構成や出題内容等と同一のものになるとは限らない。今回の結果、さらに30年に予定されている大学を会場とした試行調査などを踏まえて、さらに検討がなされることになっている。